

【一般の部 優秀賞】

作品名 とってもええこと

作者 はるくま＊おはなしのたね
(はるルン♪・くまくま)

とってもと ええこと



①

こんにちは。みんなは、ゼロ吉ファミリーを知ってる？

自然が大好きな森の妖精。

その自然を守るために、ものを大切にして、人間が出すゴミも食べてくれる
んやに。

ある日のこと。

パパ「ただいま！ 今日も、いろいろなゴミが落ちとったよ。ゼロ美の好き

なミカンの皮もあつたよ」

ゼロ美「わくわく」

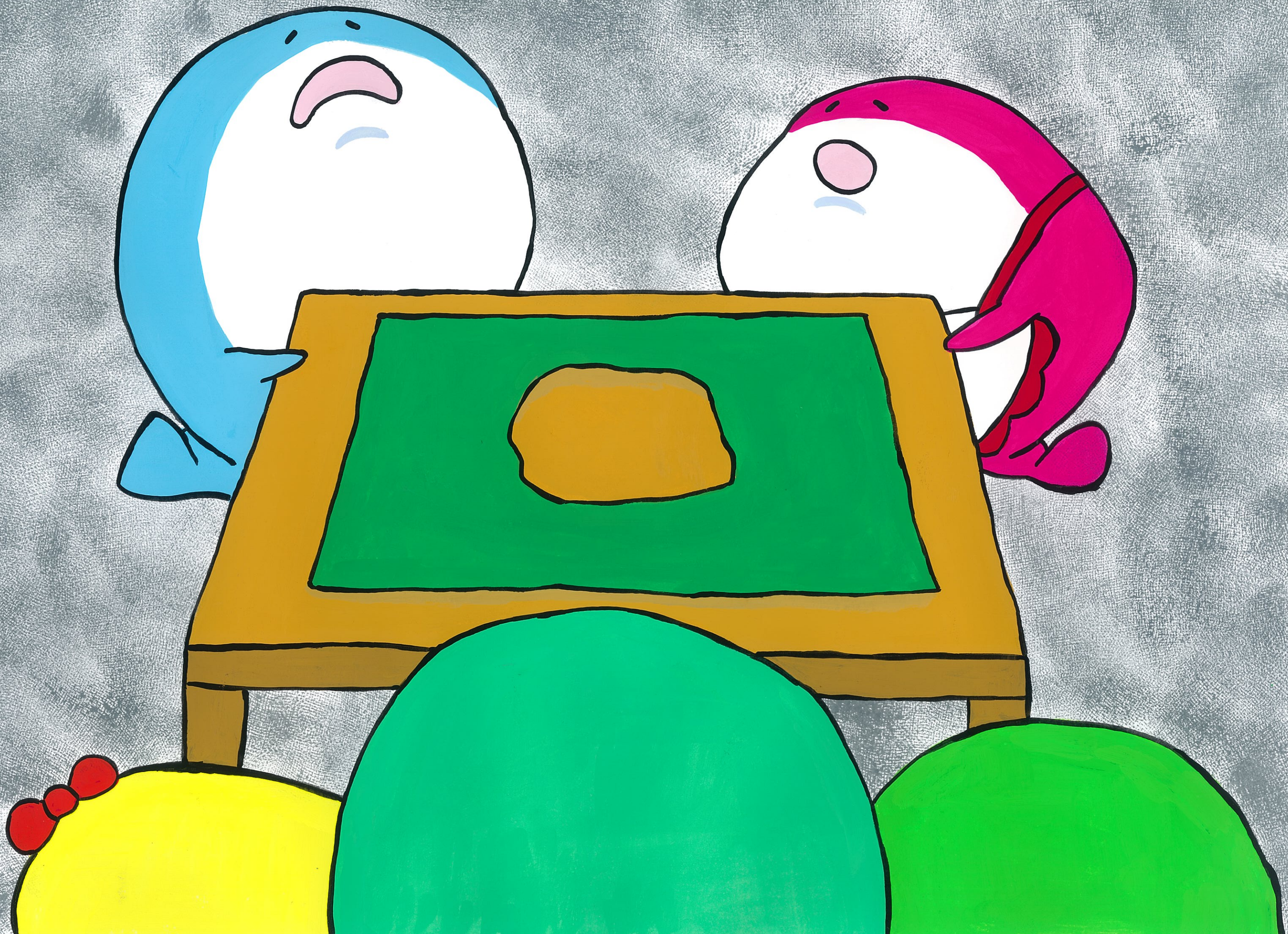
ゼロ吉「リンゴの芯は あるゼロ？」

ゼロ助「魚の骨は？」

パパ「みんな あるよ。ゼロママ、分けてな」

ところが

ママ「あれ？ ないよ」



②

ママ「まあ、大きな穴！」

こどもたち「ほんまや！」

パパ「長いこと 使つとるでなあ。これも、もうゴミやるか？」

ママ「ちよつと待つて！ それは もつたいない。私が直すよ。せやけど、

大きな穴やで、ほかの布を当てな あかんわ。いろんな布があると、

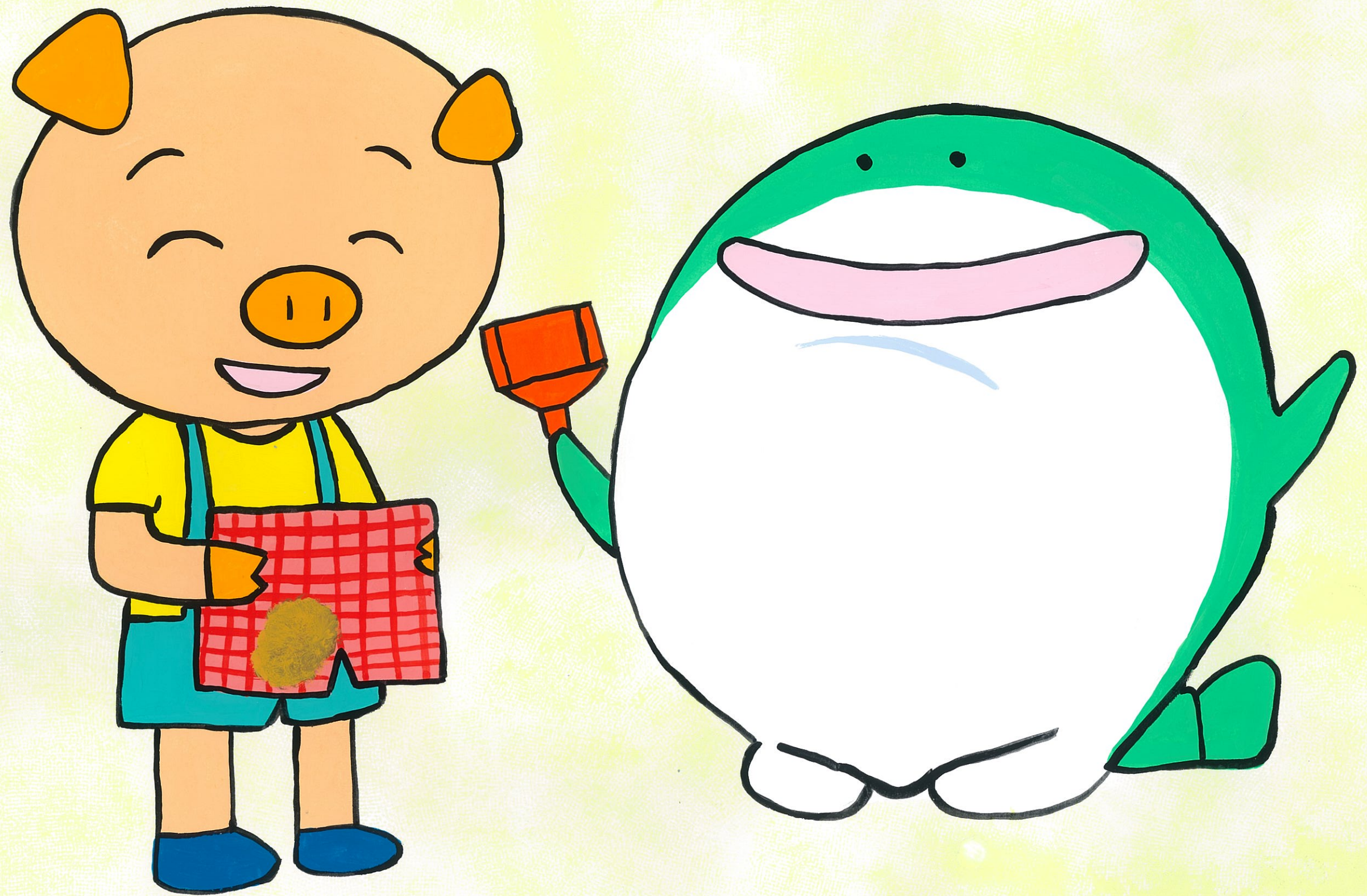
綺麗なのが できるんやけどなあ」

ゼロ吉「じゃあ、友達に、着られへんようになった服がないか、聞いてくる

ゼロ」

ゼロ助「ボクも一緒に行くよ」

ゼロ美「あたちも連れてってでチュー」



③

ゼロ吉「ぶたさん。ズボンが汚れて、着られへんようになったって言っとつ

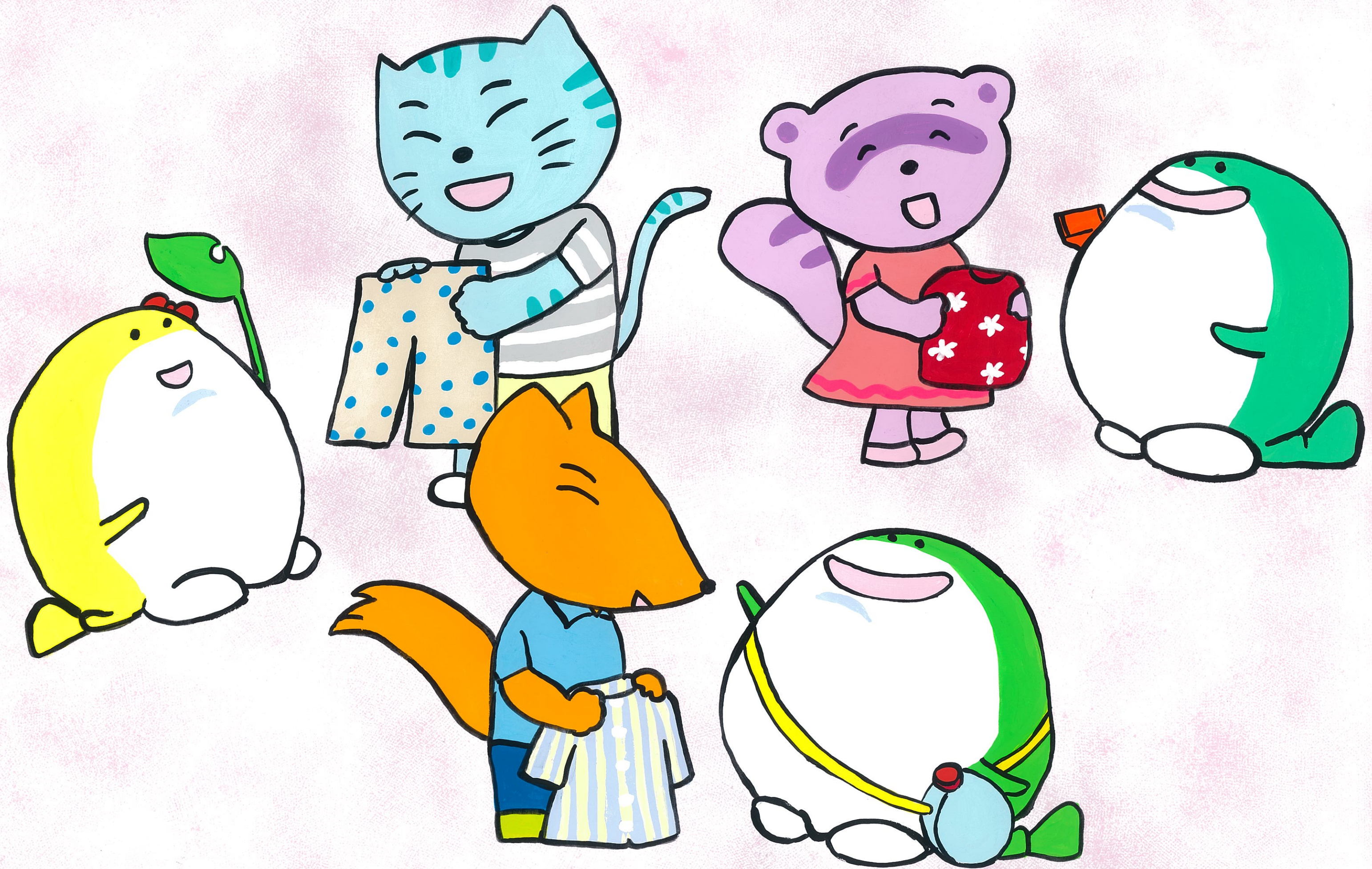
たゼロ？」

ぶた「そうなん。気に入っとつたのになあ」

ゼロ吉「ほんなら、ボクに くれるゼロ？」

ぶた「ええよ。でも、どうするん？」

ゼロ吉「とつても ええことゼロ」



【3分の1まで抜く】

ゼロ吉「たぬきさん。Tシャツが小さくなったって言っとったゼロ？」

たぬき「そうなん。気に入っとったのになあ」

ゼロ吉「ほんなら、ボクに くれるゼロ？」

たぬき「ええよ。でも、どうするん？」

ゼロ吉「とつても ええことゼロ」

【全部 抜く】

ゼロ助「きつねさん。パジャマが小さくなったって言っとったよなあ？」

きつね「そうなん。気に入っとったのになあ」

ゼロ吉「ほんなら、ボクに くれる？」

きつね「ええよ。でも、どうするん？」

ゼロ吉「とつても ええことやよ」

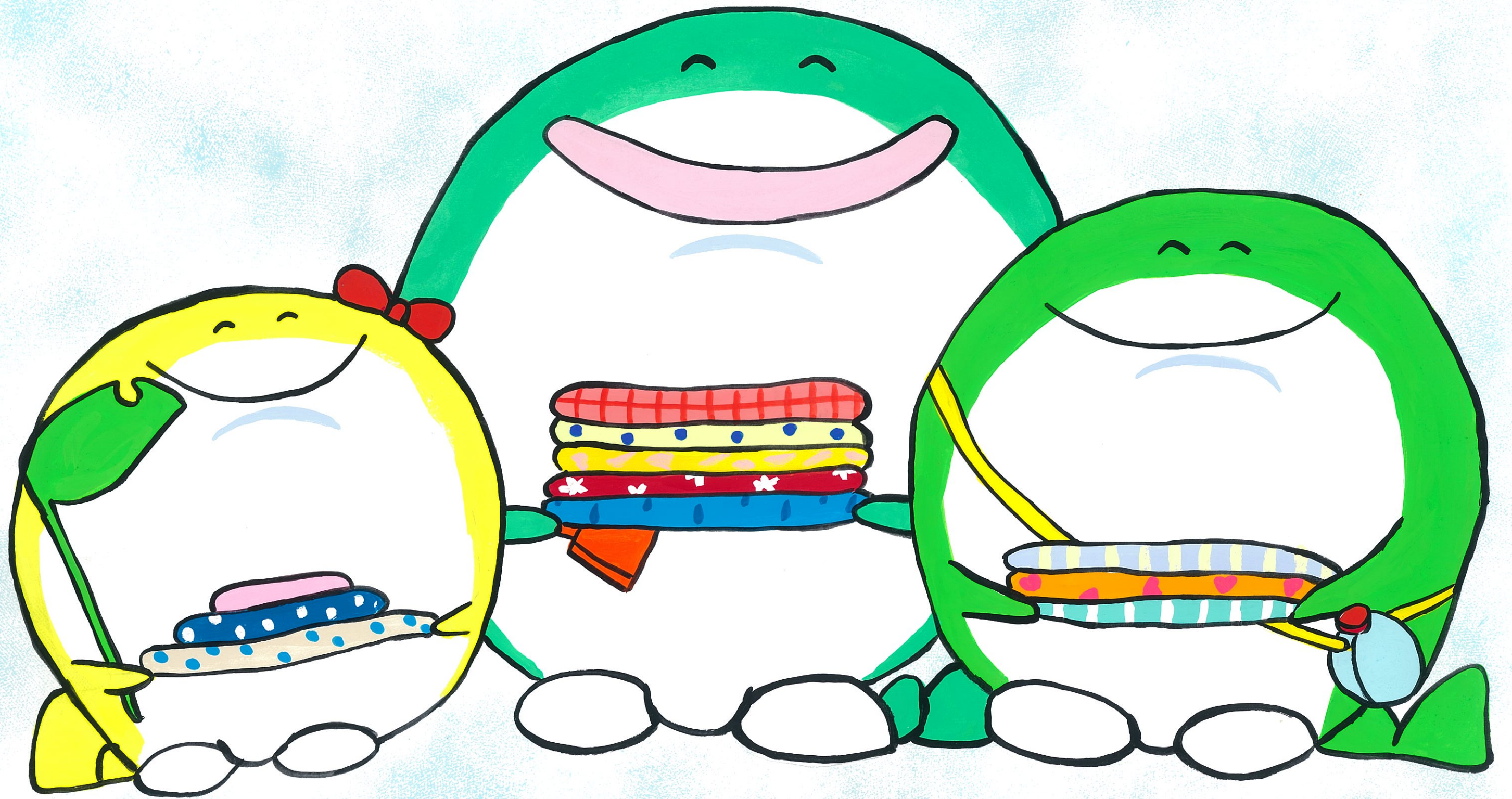
ゼロ美「ねこちゃんも、パジャマが小さくなったって言っていたでチュね？」

ねこ「そうなん。気に入っとったのになあ」

ゼロ美「じゃあ、あたちに くれまチュか？」

ねこ「ええよ。でも、どうするん？」

ゼロ美「とつても ええことなんでチュー♪」



⑤

ゼロ吉「ゼロママ。いっぱい集まったゼロ」

ママ「あれあれ。すごい すごい！」

ゼロ吉「みんな お気に入りやったから、捨てられなかったゼロ」

ママ「じゃあ、大事に使わな あかんな。綺麗なのをつくりたいで、小さく

切ってから縫い合わせるわ」



⑥

ママ【歌うように】

「チクチク チクチク チークチク

半ズボンも Tシャツも

小さな布を 大きな布に

ひとつの色が 多くの色に

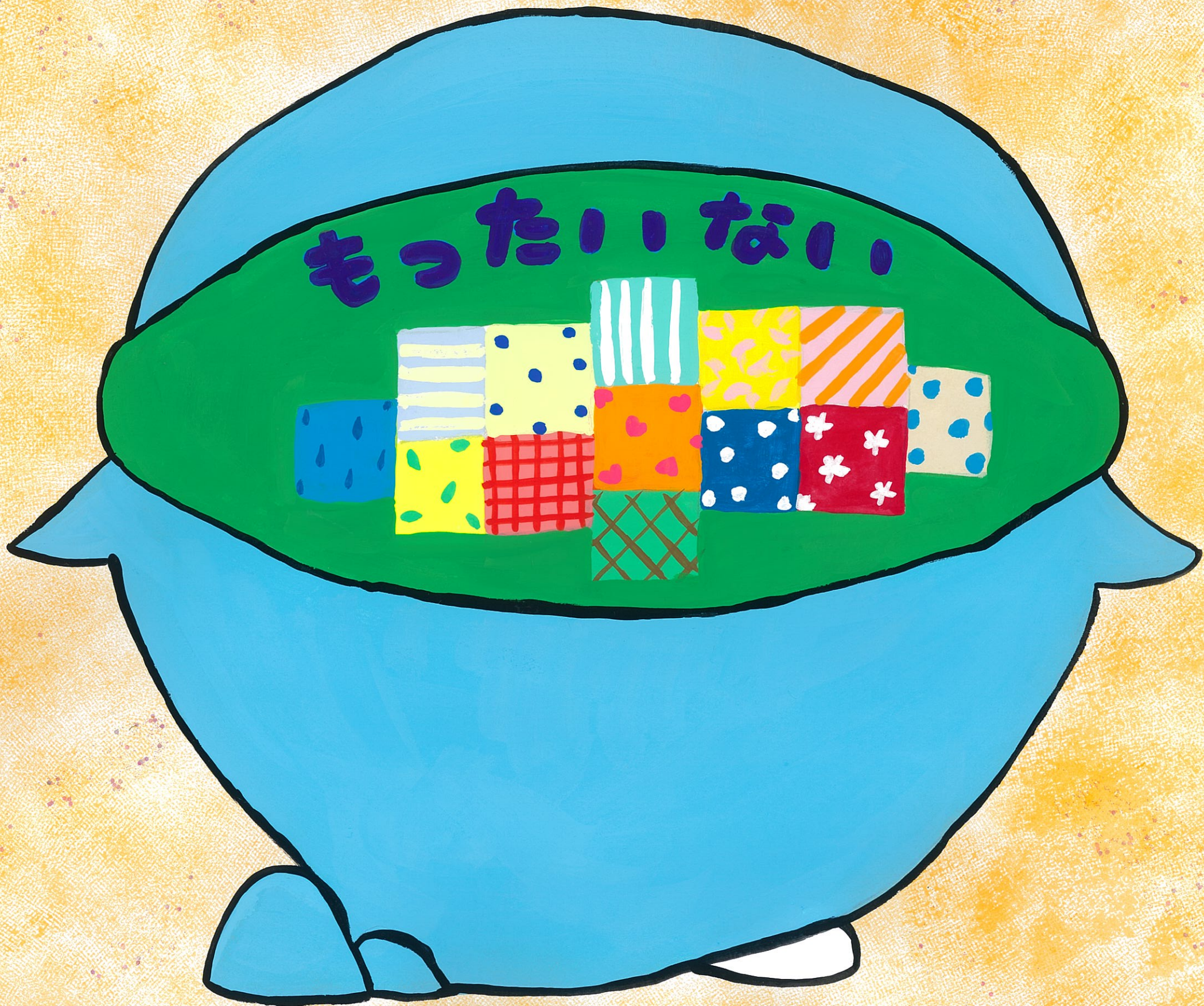
チクチク チクチク 縫ったなら

みんな ワクワクするやるなあ」

それから何日か経って……

【ぬきながら】

ママ「は〜い！できたよ！」



もったいない



⑦

ゼロ吉「かつこええゼロ！」

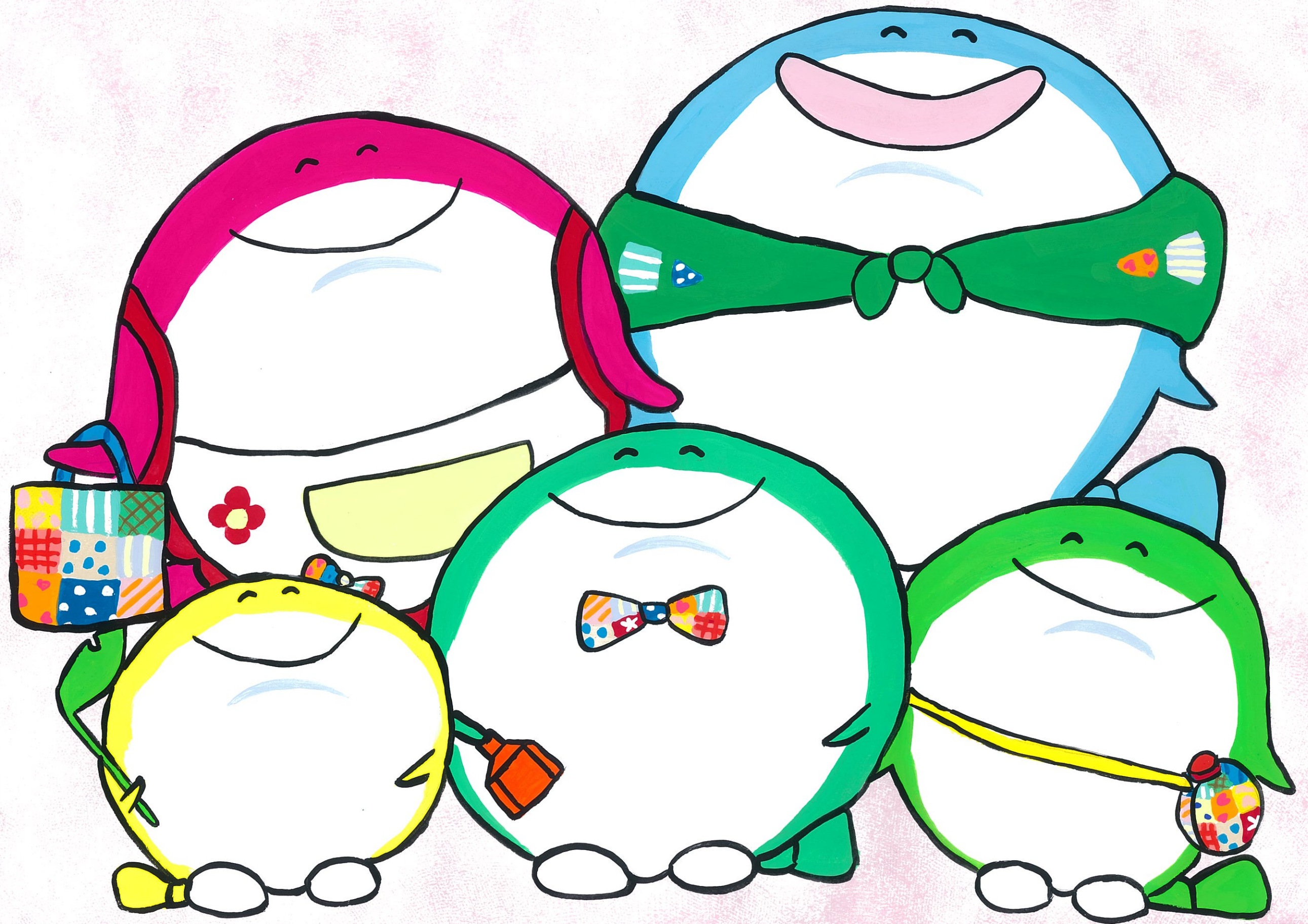
ゼロ美「ゼロママ、すごいでチユー」

パパ「『もったいない』は、物を大事にして、無駄のない使い方すること。

昔からある日本語やけど、今では、世界中の合言葉になっとるんや。

ゼロママ、おおきんなあ」

ママ「どういたしまして」



⑧

ママ「ゼロ吉たちが、布をたくさん集めてくれたで、ほかにも つくったよ。

ゼロ吉には、蝶ネクタイ。ゼロ助にはマイボトルカバー。ゼロ美には
リボン。私もマイバッグをつくったんやに。ぶたさんたちにも、風呂
敷をつくったで、あとで届けてな」

みんな「ゼロママ、おおきなあ！ 大事にするでな」

ママ「みんなに喜んでもらえて、うれしいなあ」

ゼロママが、チクチク縫って、みんなのお気に入りが生まれ変わったんやに。
ものを大切にするって、とつても ええことやなあ。

おしまい